

オリンピック・パラリンピック教育の推進

石川県教育委員会では、平成29年度より、「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」を実施しています。今年度は、県内3地区でスポーツ選手ふれあい事業を実施し、約120名の小学生がオリンピックメダリストと交流したほか、実践推進校7校において、オリンピックによる講演会や実技指導などを実施しました。オリンピック等との交流やオリンピック・パラリンピックに関する学びを通して、児童生徒たちは、スポーツの価値や関わり方に理解を深めるとともに、夢に向かって努力することや諦めない気持ちを持つことの大切さを学びました。

スポーツ選手ふれあい事業



実技指導で倒立の練習をする小学生

加賀地区・体操競技
(小松市・木場潟スポーツ研修センター)

講師：鹿島 丈博さん[アテネオリンピック・金メダル(団体)・銅メダル(あん馬)]



オリンピックを相手に一本背負投をかけようとする小学生

金沢地区・柔道
(金沢市・県立武道館)

講師：谷本 歩実さん[アテネ、北京オリンピック・金メダル]



レクリエーションを通してオリンピックとふれあう小学生

能登地区・水泳
(輪島市・一本松総合運動公園 温水プールサン・ブルル)

講師：小堀 勇気さん[リオデジャネイロオリンピック・銅メダル]

実践推進校での取り組み

穴水小学校

オリンピック・パラリンピックの意義や歴史を学ぶ



オリンピック・パラリンピックのフラッグツアーを見学し、オリンピック・パラリンピックの意義について学びました。

光野中学校

スポーツを通して、おもてなしの心を備えたボランティア精神を育成



金沢マラソンのボランティアに参加し、事前・事後学習を通して、スポーツとの様々な関わり方について学びました。

鶴来高校

スポーツを通して、インクルーシブな社会(共生社会)について学習



パラリンピアンを招いて講演会を開催するとともに、体験用のレーサーにも試乗し、パラスポーツ及び障害者への理解を深めました。

「能登のアマメハギ」を含む「来訪神：仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産に!

平成30年11月29日に本県の「能登のアマメハギ」を含む「来訪神：仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

本県では、平成21年の「奥能登のあえのこと」、平成28年の「青柏祭の曳山行事」に続いて3件目の登録となり、脈々と受け継がれてきた能登の歴史・文化がかけがえのない人類共通の財産として国際的に認められました。

「能登のアマメハギ」とは・・・

「来訪神」行事を構成する本県の「能登のアマメハギ」は、輪島市と能登町で伝承され、正月などに、アマメハギ(地域によってはメンサマと呼ばれています)と称する神が人里を訪れ、家々を巡り歩き、新たな年を迎えるにあたって怠け者を戒めたり、人々に幸や福をもたらしたりする行事です。

囲炉裏などで長く暖をとっているときで火斑を「アマメ」といい、このアマメを剥ぎとって、怠惰を戒めるという意味からアマメハギと呼ぶようになったと言われています。

能登のアマメハギの行事実施日

【門前のアマメハギ】	1月 2日	(皆月、五十洲地区)
【輪島の面様年頭】	1月 14日	(河井地区)
	1月 14日	(輪島崎地区：おいで面様)
	1月 20日	(輪島崎地区：お帰りに面様)
【能登町のアマメハギ】	2月 3日	(秋吉、河ヶ谷、清真、宮犬地区)



教育

たいあつぷ

No.44
2019
3月

いしかわ教育の日 シンボルマーク
発行・編集 / 石川県教育委員会
金沢市敦月1-1
TEL(076)225-1811
http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.html

商業を学ぶ高校生の国際感覚の育成

本県においては、北陸新幹線の金沢開業以来、外国人観光客が増加し、社会の様々な場面で外国人と交流する機会が増えています。さらに、今後も、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、外国人観光客が増加することが見込まれます。また、企業からは、英語でのコミュニケーション力や異文化理解などの国際感覚を身に付けた人材を育成して欲しいという声が聞かれます。

こうした状況を踏まえ、今年度より、地元観光産業やサービス産業へ就職する生徒が多い商業系高校4校において、以前から生徒が英語で兼六園のガイドツアーなどに取り組んでいる金沢商業高校をモデルに、地域の観光資源について学んだことを生かして、外国語指導助手(ALT)や留学生を相手に、英語での模擬観光案内を実践しています。

本県では、この取組を通して、生徒の英語コミュニケーション力の向上や異文化理解の促進を図り、社会で求められる国際感覚を備えた人材を育成していきたいと考えています。



小松商業高校：那谷寺ガイド



金沢北陵高校：兼六園ガイド



七尾東雲高校：七尾市一本杉通りガイド



輪島高校：輪島朝市ガイド

小学校におけるプログラミングを取り入れた授業

小学校では2020年度からプログラミング教育が必修化されます。

プログラミング教育では、論理的思考(プログラミング的思考)を育むことで「順序立てて説明できる」、「見通しを立ててから実行する」、「諦めず思考し、いろいろな方法を試してみる」、「問題解決に、何が必要か取捨選択できる」など、これからの社会を生き抜くために必要な資質・能力を身に付けることを目的としています。

石川県教育委員会では、昨年度、プログラミングに対する児童生徒の関心を高めるため、加賀、県央、能登3地区において、小学生向け7会場、中学生向け3会場、高校生向け3会場プログラミング体験教室を実施しました。さらに、今年度は、小学校17校に専門家を派遣し、試行的にプログラミング教育を実践しています。

プログラミングを取り入れた授業には、角度と辺の数をプログラミングしていろいろな正多角形を描いたり、反比例のグラフをプログラミングして描いたりする算数の授業や、プログラムによりLEDを点灯・消灯させる体験等を通じて、情報技術が私たちの生活を便利にしていることを学ぶ総合的な学習の時間の授業などがあります。

今後は、プログラミングを取り入れた授業の指導法の研究や研修による教員の指導力向上に努めていきます。

4年生 社会 PCでクイズ問題を作る!



県や市町の特徴を調査して、その特徴についてプログラム言語のScratchを使ってクイズ問題を作りました。

5年生 算数 正多角形を描いてみよう!



角度と辺の数をプログラミングして、いろいろな正多角形を描きました。

6年生 算数 グラフを描こう!



数式 $y = \text{決まった数} \div x$ を使って、プログラミングにより反比例のグラフを描きました。

6年生 総合的な学習の時間 LEDを点灯・消灯させる!



プログラミング専用PCのIchigo Jamを使ってプログラムを入力し、LEDを点灯・消灯・点滅させました。

企業ではたらく皆様の家庭教育を応援します! 家庭教育出前講座

石川県教育委員会では、今年度より企業を対象に家庭教育に関する出前講座を開催し、専門家講師・職員の派遣を行っています。

平成30年10月には、中村留精密工業株式会社において、「パパを楽しもう」と題して、大阪教育大学准教授 小崎恭弘氏による講演を開催しました。小崎氏自身の育児経験や保育士時代の経験をもとに、育児も仕事も共通するものが多いことや、パートナーを大切に思い、父性・母性を生かした子育てを楽しんで欲しいことなどが話されました。笑いを交えながら約1時間の家庭教育講座となり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



受講された方々の感想

育児と仕事がついている点を強調して、分かりやすかった。

自分の子育てがこれより不安でしたが、話を聞いて安心しました。今後の子育てに生かしていきます。

今後の子育てに役立つ内容が多くあり、大変参考になりました。

楽しく聞けました。三人で育児をしていることが多く、他の人の話を聞く機会が少なかったため、またこのような話を聞けるといいと思います。



企業のワークライフバランス推進のため、終業後の講座として企業の皆様に活用していただいている事業です。お問い合わせは石川県教育委員会生涯学習課(076-225-1839)まで
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/kigyokatei>



発達障害等の子どもを支援するために ~「個別の教育支援計画」の作成・活用~



家庭や学校で、こんな行動は見られませんか?

- 衝動性、多動性、不注意
 - 注意力が集中力が極端にない
 - 忘れ物が多く整理整頓が苦手
- こだわりや対人関係
 - 急な予定変更に対応できない
- 学び方や感覚の困難さ
 - 速あーい (速い)
 - 虫足申 (遅い)
 - 漢字は読めるが書くことが苦手
 - 感覚が極端に敏感または鈍感
 - うるさくて、教室に入ることができない!

個別の教育支援計画の作成

- 個別の教育支援計画とは何ですか?
 - 障害等のある児童生徒一人一人について、支援目標を立て、保護者や関係機関と連携しながら的確な支援を行うことを目的に担任が作成するものです。
- どんな状況のお子さんに作成しているのですか?
 - 発達障害等の診断のあるお子さんや診断がなくても支援が必要なお子さんに作成し活用されています。
- うちの子に作成したいのですが、誰に相談すればいいのですか?
 - 小中高等学校の担任か、特別支援教育コーディネーターの先生に相談してください。

ポイント 一人一人の困難さに応じた切れ目ない支援の充実

- 成長の見通しを持つ
 - 支援目標を設定し支援します
- 合理的配慮の決定
 - 個に応じた特別な配慮を決定します
- 関係機関との連携
 - 保護者の方が関係機関に提示することで学校との連携が充実します
- 個に応じた指導支援
 - 学校全体で支援や配慮が図られます
- 情報共有
 - 進級時に情報の引継ぎがなされます
- 校種間での引継ぎ
 - 小中高等学校等の進学先に引継ぎます

みなおす!

- 変化に応じて随時修正
 - お子さんの状況に応じて修正します
- 年度末の評価
 - 担任と保護者で1年間を振り返ります